

《共通基礎科目 第二外国語科目》

科目名	中国語				
担当者氏名	浦部 依子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

中国語の入門コースとして、まず発音の仕組みを理解する。次に中国語の基本となる語彙、語順による文法、それらを用いた基本文型を学習し、数と時刻の表現や、使用頻度の高い形容詞・動詞や、文章を構成するのに不可欠な助数詞・前置詞などを覚え、表現の幅を広げていく。本講義を通じて、受講者は中国の言語と文化に親しみ、基本的なコミュニケーション能力の涵養をめざす。

《授業の到達目標》

1「知識・理解」：単語と文法の学習により文意を掴み、発音体系とピンインを学ぶ。2「思考・判断」：単語置換や作文により基本文を展開させ、応用力を養う。3「関心・意欲」：言語のみならず、その言語が熟成された民族文化に親しむ。4「技能・表現」：読解した文の会話表現を試みる。5「態度」：異なる言語や文化を持つ幼児の教育を理解し、主要外国語である中国語の基礎を学び備える。

《成績評価の方法》

定期試験によらず、到達度の確認テスト(文法・文化理解)50%
平常点(課題・小テスト・積極性・ミニツツペーパー・会話コミュニケーション)50%で総合的に評価する。

《テキスト》

荒川清秀ほか著『新訂・シンプルに中国語 文法編』(2016 東京：同学社)

《参考図書》

必要に応じてハンドアウトを配布する。

《授業時間外学習》

事前学習：新しい課の学習に先んじて、テキストの単語を把握する。
事後学習：文法事項を復習して小テストに備える。会話発表の練習をする。

《備考》

クラス内で会話パートナーやグループを設定する。「大家沙龍(みんなのサロン)」では、伝統歳時やCポップを楽しみ、中国の社会文化に親しむ。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	秋期オリエンテーション 復習	春期の復習 発音、第1課～第6課
2	第7課 何を買いましたか？	完了、実現及び変化の「了」肯定文、疑問文、否定文
3	第7課 何を買いましたか？	ものと容器、AとB「A 和 B」
4	第8課 常磐へはどう行く のですか？	方位詞/存在を表す「有」 ～を持っている、～がある
5	第8課 常磐へはどう行く のですか？	「离」と「从」2つの違い：～から
6	第9課 彼は昨日帰って くるのが遅かった	結果補語と状態補語
7	第9課 彼は昨日帰って くるのが遅かった	前置詞「给」 私はあなたに電話をかけましょう。我给你打电话吧。
8	第10課 あなたは聞いて わかりますか？	動作の時間/動作と時間の関係
9	第10課 あなたは聞いて わかりますか？	可能の表現 彼の大阪弁あなたは聞いてわかりますか？他的大阪话，你听得懂吗？
10	第11課 あなたは運転 できますか？	can:できる 助動詞「会」と「能」の違い
11	第11課 あなたは運転 できますか？	経験を表す Vしたことがある「V 过」/ なぜなら～「因为～」
12	第12課 寒さに強いなら ハルビンへ行きなさい	～してもよい「可以～」ここでご飯を食べてもよい。这儿可以吃饭。/「要是」～(就)你要是怕冷，就去哈尔滨吧。
13	第12課 寒さに強いなら ハルビンへ行きなさい	比較の表現「比」京都は大阪より寒い。京都比大阪冷。
14	復習と対策	到達度の確認・インタビューテストの練習
15	講義のまとめ	要点の復習、到達度の確認テスト